

PHOTO MEMORY 外 夏



1 9月2日。千歳川に遡上したサケを迎え、豊漁を願うアイヌ民族の伝統儀式「アシリチエブノミ」が蘭越の長沼用水取出口で行われました。※この儀式で祭司を務める野本久栄さんの紹介は、24ページをご覧ください。

2 9月8日。総合福祉センターで「健康まつり」が開かれました。写真は1日に必要な野菜の量を当てるコーナーで、切った野菜を手にした親子が、楽しみながら健康への知識を深めていました。

3 9月8日。防災学習交流施設で「総合防災訓練」が行われました。千人を超える参加者が、倒壊した建物から負傷者を救出する訓練などに、本番さながらの真剣な表情で取り組んでいました。

4 9月15日。生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」が行われました。会場の青葉公園は、郷土料理を提供する県人会のブースなどが並び、大勢の方でにぎわいました。

5 9月16、17日。道の駅サイモンパーク千歳で恒例の「インディアン水車まつり」が開かれました。写真の丸太切りレースでは、力を合わせて丸太に挑む親子に、会場から大きな声援が送られました。

壁きわん報室から

■あたたかい日が続いていましたが、朝夕は、めっきり涼しくなってきました。少し前までは、毎日、「あつい、あつい」と、口ぐせのように言っていたのが、今度は「さむい、さむい」という日が少しずつ近づいています。

■天高く馬肥ゆる秋。澄み切った青空が美しい季節です。未来の空へ夢を描く学生や子どもたちの笑顔は、秋空のように晴れやかでした。約90年間で驚くべき発展を遂げた空のまち。100年先には、どのような歴史が刻まれるのでしょうか。

今月の表紙

新千歳空港を離発着する飛行機が間近に行き交う空港公園は、大正15年から現在につながる「空の歴史」を感じることができるといえます。千歳に初めて飛行機で降り立った酒井憲次郎操縦士は、何を思いながら現在の千歳の空を見上げているのでしょうか。



8月7日 空港公園で撮影